

目的に合わせて楽しく学ぶ体験学習がいろいろ。

学校教育・生涯教育支援の内容がより充実

ジオパーク学習センターには、県内の多数の学校が理科や総合的な学習、社会などの授業の一環として来館しています。中でも多いのが小学校6年生の理科「土地のつくりと変化」を目的としたものです。ジオパーク学習センターでは学校教育支援に力点を置いており、来年度からの新しい教育指導要領なども意識して、より子どもたちが主体的に対話しながら深く学べるよう体験学習教材などを充実させています。また学校などの教育機関においては学習センターの学びと併せて野外観察にも同行し、現地での解説もしています。野外での地層観察は子どもたちにとっては新鮮で実際に地層を見て触れることは主体的に深く学ぶきっかけになります。生涯教育支援においては、年齢や目的に合わせて、簡単な体験学習と合わせ自然や防災など興味ある内容で対応しています。内容などお気軽にご相談ください。



▲様々な火山の噴火実験の様子

話題

増えています。県外から個人・団体の来館者

目的は「地球についてもっと学びたい」

ここ数年、県内だけでなく県外から団体だけでなく個人(1人～2人)でジオパーク学習センターに来館する方が多くなりました。首都圏からが多く東北、関西からも多数訪れています。目的は「地球についてもっと学びたい」。男鹿半島・大潟ジオパークは、日本列島のでき方がわかる場所として全国に知られています。ほかにもマールと呼ばれる珍しい噴火口などもあります。ジオパーク学習センターでそれらの予備知識を得て、その後、安田海岸などのジオサイトを巡る人が多いようです。学習センターでは個人でも団体においても希望があれば説明員が解説しますのでこれも安心して来館する理由の1つになっています。また男鹿半島・大潟ジオパークのホームページで新しい情報を常時アップしていることも関心を高めていると思われます。



▲台湾からの観光客

新しい教材

日本列島が大陸から離れた原因を可視化した教材

日本列島がユーラシア大陸から離れていく動きはわかっても、その原因がわからないという来館者が多く、従来のイラストでの説明と併せて実際にプレートの動きとマントル内部の動き、さらに大陸から日本列島が離れていく動きを連動させた手作り教材を牛乳パックで作ってみました。

